

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 2 年 2 月 5 日

アンケート期間:令和 1 年 12 月 1 日～令和 1 年 12 月 27 日

事業所名 放課後等デイサービスリぼん

保護者等数(児童数) 31

回収数 21

割合 68 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5		2	サンシャインを見たことがありません。	いつでも見学いただけます。スタッフにお声がけください。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3		2		基準配置(2名)以上の職員配置を行い、支援にあたっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	5		2		各所スロープを設置するなどしてあり、バリアフリーではないところは適切な介助を行い安全に配慮しております。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	19	2				発達状況に応じて計画の見直しを行っていきます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	1		1		利用児童によって偏りがないように様々な経験が出来るようにプログラムを組んでいきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21				健常児の子ども達と平等に交流をさせて頂けて嬉しいです。	併設する学童との交流を増やしていきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2				個別面談等でご説明させて頂きます。ご不明点があればお声がけください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1				送迎時や面談、連絡帳で様子や発達の状況をお伝えしております。些細なことでも教えて頂けると支援の参考になります。ご協力お願い致します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2				その都度ご相談ください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	6	1	5	参加していません。	父母の会は運営していません。年1回茶話会を行っています。その他、親睦会、夏祭り等是非ご参加ください。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	1	5		苦情については職員に直接お話しください。又、お電話やメールでも受け付けております。状況を確認でき次第担当よりご返答させて頂きます。
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	1		漢字がよめないから分らない。	保護者、児童に合せてふりがなをふる、絵カードやサインを使用するなど個々応じて対応させて頂きます。ご相談ください。	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2			毎月のおたよりとホームページに行事予定や活動の様子を掲載しております。是非ご覧ください。
	14	個人情報に十分注意しているか	20	1		3	個人情報に関しては今後も十分注意して取り扱っていきます。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2		6	防犯、感染症マニュアルが未整備となっています。早急に作成し、マニュアルに沿った訓練を実施します。緊急時対応マニュアルは作成して職員や保護者へお知らせをしていますが浸透していないようです。再度周知して頂けるようにします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20			1	月1回避難訓練を行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2		1	楽しんで通所して頂けるようなプログラムを考えていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	18	3			放デイで昼食を提供してくれてすごくありがたいです。引き続き満足度の向上が出来るように職員一同努めていきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2 年 1 月 15 日

公表:令和 2 年 2 月 5 日

事業所名 放課後等デイサービスりぼん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	学習と活動の部屋を分けて活動しています。	個別のスペースがとれるようパーティションで区切ったり、机の配置などで工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	8		基準配置(2名)以上の職員配置を行い、支援にあたっています。	職員の専門性や、質の向上を目指します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7	各所スロープを設置するなどしており、バリアフリーではない所は適切な介助を行い、安全に配慮している。	危険箇所の周知と改善を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		HUGシステムを導入し職員全員が計画等を閲覧でき支援内容や目標が確認ができるようにしています。その他で引き続き支援会議を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			アンケートを実施し業務改善に努めています。全スタッフが意識していけるようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		今年度よりホームページを開設し、自己評価の結果を公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	第三者評価は受けていませんが、職場体験の受け入れを行い地域や学校との関わりを大切にしています。	現在は実施していません。実施出来るよう外部評価先を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		法人内に他の事業所を招いての研修を実施すると共に、外部での研修にも積極的に参加しています。	研修内容を法人内でのミーティングで報告し、内容を周知するよう努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	面談を行い、保護者の意向や、子どもの様子、将来への思いを共有しながら計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	5		それぞれ発達に応じたアセスメントを検討し、活用出来るようにしていきます。お子様の生活についてのアンケートなど事業所独自のアセスメントツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		法人内で月の大まかな予定を作成し、事業所ごとで細かな活動プログラムの立案を行っています。引き続き行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	曜日や、利用児童で活動が固定してしまわないように、全体(1カ月間)の予定を見ながら活動プログラムを検討しています。	利用児童が偏り無く様々な経験が出来るようにプログラムを考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	休日や長期休暇では平日になかなか行う事が出来ない調理実習や他の事業所との交流、公共交通機関を使っての外出など実践的な課題を設けています。	平日、休日、長期休暇、その時々に合わせてプログラムを組み込み、その中で取り組む課題を設定していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		個別での活動と集団での活動を組み合わせた計画を考えています。	1日の活動の中に、個別での活動、集団での活動をプログラムとして組み込んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	毎日支援開始前に併設している学童と放デイ職員でミーティングを行い、利用児童の情報や、送迎、活動内容を確認しています。	役割分担をしているが十分でない場合もあるため、今後も役割分担を徹底していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		支援終了後に職員間での振り返りを行っているが、職員全員が振り返りを出来ているわけではないため、支援終了後に限らず、近い所で振り返りができ、気づいたことなどを職員が共有し支援に活かしていけるようにします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		記録をとっているが、支援の検証や改善にしっかりと繋がっていないことが現状あり、実施した内容から評価、見直し、改善を徹底していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		モニタリング、計画見直しは定期的におこなっています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8			ガイドラインに沿った支援を行っています。職員間で再度確認を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		学校との情報共有(年間行事、下校時刻等)は保護者を通じて行っています。送迎時の対応、トラブル発生時の連絡はその都度連絡を細やかに取り合うように努めております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5		現在医療的ケアが必要な児童は通所していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1		入学前に保育所での様子や状況把握の為に担当者会議に参加し、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1		相談支援センターとの情報交換をおこなっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		半田市で開催される研修に参加しています。他事業所との担当者会議を行っています。	研修には積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1		併設する学童保育事業所と合同で行事を企画し、参加しています。近くの児童館を利用させて頂くこともあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3		研修等に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時には毎回お子さんの様子を伝えあうことができます。	ご家庭や学校での様子、いつもと変わった様子などお子さんの1日を通して発達の状況や課題を理解していけるように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		現在は不十分なため、研修などに積極的に参加し実施出来ればと思います。課題に対して、家庭での対応をお願いすることもあります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に説明をしています。分かりやすい、丁寧な説明を心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		いつでも相談しやすい環境を整えると共に、信頼関係を築いていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	年1回茶話会を開催しています。	父母の会は運営していません。年1回の茶話会の企画や、夏祭りへの参加を募る等保護者が交流できる場を提供しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			苦情があった場合には、責任者に報告し迅速に対応できる体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月おたよりを発行し行事予定を発信しています。	毎月のお便りやホームページに活動写真を掲載し、支援の見える化を目標としています。その他口頭でのお伝えや、連絡帳で支援内容等お知らせしています。メール等を使い問い合わせのしやすい状況を作っています。
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		漢字が読めない保護者に対し、ひらがなでの連絡帳の記入や、書類にふりがなを付け理解しやすいようにしています。	必要に応じて絵カードや、ご家庭で使用しているサインを習得し支援しています。保護者への情報伝達では重要な事項に関しては保護者の元へ出向き直接お話をさせて頂いています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4		これまでに併設する学童主催でバザーを行った際に地域の小学生や近所のご家庭に案内をだしていましたが、今年度は行えていません。夏祭りやその他の行事に地域の住民を招待していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3		防犯、感染症対応マニュアルが未整備となっています。早急に作成し、マニュアルに沿った訓練を実施します。緊急時対応マニュアルは作成して職員や保護者へお知らせをしていますが、浸透していないようなので再度周知していただけるよう働きかけをします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			毎月避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			虐待防止の研修に参加しました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	入所申込時に説明し了解を得た上で同意のサインをいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		食物アレルギーの有無や内容、症状、対応は保護者より伺っているが、医師の指示書はいただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		指定の様式があり記入が定着しています。法人全体でのミーティングにて報告をしていますが、欠席などの理由で共有できていない職員がいるため、未然に事故を防ぐためにも周知を徹底していきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

アンケート期間: 令和 1年 12月 2日～令和 1年 12月 27日

事業所名 放課後等デイサービスOHANA 保護者等数(児童数) 29名 回収数 25 割合

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22			2	直接生活の様子を見たことがない。	新しい建屋や相談室などのスペースも活用して活動していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	2		2		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	25					
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	22	2		1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	1				
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	1		3	参加したことがない。	今後も茶話会などを計画して、お便りなどでお知らせしていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		9	今まで利用していて、そのようなことがないので分からない。	苦情などあった場合はすぐに責任者に報告し対応致します。また苦情報告書に挙げスタッフ間で共有していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	1		3	ホームページを見たことがない。	お便りなどで随時どりーむハウスHPのURLをお知らせしていきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	21	1		2	気にしていないから分からない。	こちらが高い意識を持った上で、責任を持って個人情報の取り扱いに十分に気を付けて
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	2	8		訓練などは行なっておりますが、保護者様への周知が不足しているため改善していきたいです。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	1		4		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	25				これからも宜しくお願いします。	有り難うございます。子供達の気持ちに寄り添い楽しんで通って頂けるよう今後も努めて

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和 1年 12月 28日

事業所名 放課後等デイサービスOHANA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		利用者や活動に応じて新しい建屋や相談室なども使って活動を行なっています。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		基準に基づいて実施をしております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			玄関にはスロープも設備されており、全館バリアフリーとなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		毎日ミーティングを行ない、支援者会議も定期的に行なっています。会議の内容や連絡事項など、その時参加出来なかったスタッフにも分かるように記録随時取っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		スタッフ一人一人が高い意識を持って支援に携わっていくよう、アンケートを基にスタッフで会議を行なっています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			法人のホームページと市町村のホームページにも案内されています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		必要があれば考えていきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			日にちや時間が合わず参加出来ない研修もありますが、積極的に研修に参加するよう随時研修案内をし声掛けをしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			面談にて保護者様の意見やニーズを拾い上げ、また子どもの様子などを基に計画をしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			子どもの特性や発達にあった絵カードなどを作って活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		月の予定や行事をスタッフ同士で話し合って決めています。子ども達が楽しめるような計画を考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			曜日や利用児童に合わせて活動プログラムを組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長期休暇では外出(遠足・映画・学童交流イベント)を計画して実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			児童の特性に合わせ、集団活動と個別活動のプログラムを組み合わせ計画を行なっています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			支援開始前に必ずスタッフでミーティング・打ち合わせを行ない、その日の業務内容や活動プログラムや注意事項などを確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	支援終了後に時間が無い場合は翌日の支援開始前に会議を行なっている。	支援者が送迎に入り、スタッフが送迎から戻る時間もバラバラで支援終了後に打ち合わせを行なうのは難しいので、翌日の支援開始前に必ず前回の振り返りなどを行なうようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			子どもの活動の様子などを適切に記録してしています。計画を立てる際には日々の支援の記録も参照し、振り返りや反省点など記録を基に話し合っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			半年ごとにモニタリングを行ない、支援計画の見直しを行なっています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			ガイドラインの内容に沿って行なっています。スタッフ間でも定期的に確認していきたいです。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			担当者会議がある際は必ず児発管や施設管理者が出席・参加しています。また必要に応じて担当職員も同席するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		地域の見守り隊にも参加し、地域の学校との情報共有に努めています。下校時間の変更などは学校側からご連絡を頂いたりと助かっています。今後も地域支援に協力して連携した支援を行なっていきたいです。課題としては特別支援学校との情報共有がすすかないので、お母さんを通じて情報共有や連絡調整を行なう
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			主治医・相談支援専門員・理学療法士・保護者様とケース会議を行なって受け入れ体制を整えることが出来ました。定期的にケース会議が必要と考えるので相談支援の担当者に計画して頂きます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		就学前に通っていた保育園との間で情報共有は行なっていませんが相談支援事業所を通して就学前の情報を頂いています。また入所の際に記入して頂く問診票やお子さまの生活についてを参考にしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		卒業の時にそれまでの支援内容の情報は出来ていないので、今後は就労先の事業所と情報共有を行なっていきたいです。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			外部研修ではお知らせを随時頂いて受講しています。今年度から内部研修にも力を入れ、講師を呼んで年に②～③回の研修を計画しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			併設している学童と、行事やイベント等を通して交流しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6			子ども部会に積極的に参加するようにしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		利用時の連絡帳や親御さんへの引き渡し時にお伝えするようスタッフ一同心掛けています	連絡帳や送迎時に情報共有や情報交換に努めています。また面談を年に1～2回行なうので、その際に保護者様と発達状況や課題について話し合っ共通理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		現在はまだ知識不足なため不十分です。研修などに積極的に参加していきペアレント・トレーニングの知識を身に付け、実施していきたいです。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2		契約時に説明をしています、分かりやすく丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			必要な助言など行っているか不明ですが、そういった場合は保護者様の気持ちに寄り添い適切な助言が出来る様に努めております。いつでも悩みやご相談に乗れるような環境を整えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			年に1回茶話会を開催しています。その際に保護者様同士でもお話が出来る様な時間を設けさせて頂いております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があった場合はすぐに責任者と理事に報告し、迅速かつ適切に対応しています。また苦情報告書にまとめ、支援者会議などでスタッフみんなで情報共有をするよう行なっています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			活動内容や行事予定を記載したお便りを毎月配布し、情報を提供しております。また必要に応じて紙面にてお知らせを行なっています。
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報に記載されている書類は鍵付きのロッカーに保管するなど厳重に行なっています。またスタッフにも意識を持つよう徹底しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			言葉でのコミュニケーションが難しい場合は絵カードを使用するなど箇々に合わせて取り組んでいます。保護者様とは送迎時に申し送りをしたり連絡帳にて伝え
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		地域住民の方との交流は現段階では出来ておりません。地域に開かれた事業運営として未熟な部分のため今後力を入れていきたいと考えております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	AEDなど救命救急講習を毎年1回受講の機会を設け参加しています。マニュアルとして不十分な部分があるため改善し、保護者様にも内容の周知を行なっていく必要があると考えております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練等の取り組みは月に1回必ず行なっていますが、曜日が固定されがちなので今後は実施曜日をランダムにして計画していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止に関わる研修があれば積極的に受講するようにして、スタッフ一人一人の意識向上を図っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		現在、該当児がいませんが、やむを得ず身体拘束する場合について職員間で検討し体制整備をしていきます。またやむを得ず身体拘束を行わなければならない場合の対応の書類を入所の時に保護者様に確認して頂いております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		医師からの指示書は確認していませんが、お母様と細かな情報共有を行なうように徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハットがあった場合は用紙に記入し、ミーティングや全体会議の時に事例を出して共有し合っています。